

作成日：2026年 3月 20日

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

ICU 血流感染症における FilmArray Blood Culture Identification Panel の臨床的影響および使用対象の最適化に関する検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2020年7月1日から2025年12月31日に昭和医科大学病院の集中治療室に入院し、血液培養を採取された患者さん

2. 研究目的・方法

集中治療室（ICU）での重篤な感染症は、命に関わる緊急の事態です。

治療には、できるだけ早く適切な抗菌薬を使うことが重要です。しかし、必要以上に強い薬を使い続けると、「薬が効きにくい菌（薬剤耐性菌）」が生まれ、将来の治療が難しくなるおそれがあります。

当院では現在、血液の中にいる菌の種類を数時間で調べられる「迅速遺伝子検査（PCR検査）」を行っています。

ただし、この検査が「患者さんの回復率を高める」「薬の選択をより適切にする」という点で、実際にどこまで役立っているのかは、まだ十分に明らかになっていません。

そこで本研究では、過去の診療記録をもとに以下の点を調べます。

- この検査によって、実際に治療方針がどのように変わったか
- 検査をしても治療方針が変わらなかったのは、どのような場合だったか

この研究を通じて、「本当にこの検査が必要な患者さん」を見極め、より適切な医療につなげることを目指しています。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2029年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（性別、年齢、基礎疾患）、ICUの入室期間、ICU入室時のSOFAスコア、APACHE2スコア、免疫抑制薬の使用、感染巣、血液培養結果、FilmArray血液パネルの結果、血液培養採取時の使用抗菌薬、FilmArray使用による抗菌薬の変更の有無、薬剤感受性結果後の抗菌薬変更の有無、使用抗菌薬の種類、抗菌薬投与日数、転帰（ICU滞在日数、ICU死亡率、30日死亡率）

5. 外部への試料・情報の提供

該当致しません。

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学病院感染症内科 森 伸晃

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学病院 感染症内科

氏名：森 伸晃

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8777（医局）